

本に親しむ

幼稚園・保育所・認定こども園等における本に親しませる取組の推進

幼稚園・
保育所・
認定こども園
等

乳幼児期は、人生のあらゆる営みの土台となる力が大きく発達する大切な時期です。乳幼児は周りからの働きかけを頼りに言葉を習得し、人と関わり、世界を広げます。そのため、温かいまなざしやスキンシップなどの「非言語的な関わり」や、絵本や物語などの読み聞かせや言葉がけによる「良質な言葉のインプット」など、身近な人の関わりが大変重要です。

幼稚園・保育所・認定こども園等（以下、「園・所等」という。）では、絵本や物語などの読み聞かせ（読み語り）が日常的に行われています。それによって、子供と教員・保育士等との心の交流が図られ、読んでもらった絵本や物語などに特別な親しみを感じるようになっていきます。また、大人から絵本を読んでもらう体験を通して、子供が自ら絵本を手に取り、めくり、聞き覚えた言葉を語ります。そして、そのおもしろさを友達と語り合い、読み合うことで共有します。

そうして子供は、絵本や物語などに関わる中で新たな世界に興味や関心を広げていき、様々なことをイメージする楽しさと出会い、不思議さを感じたり、驚いたり、感動したりします。また、イメージの豊かさは言葉の豊かさにつながります。

このように、絵本や物語などに親しむことは、子供が想像力や表現力を育み、人と関わりながら、生涯にわたってよりよく生きていくことにつながります。

県の取組

【園・所等における絵本や物語などに親しませる取組の推進】

園・所等において、読み聞かせや絵本などを手に取りやすい環境づくりといった取組が充実するよう、研修や幼児教育アドバイザー等による訪問支援など様々な機会を捉えて、具体的な実施方法の助言や取組事例の紹介などはたらきかけを行っていきます。

【園・所等における保護者へのおすすめ絵本の紹介の取組の推進】

園・所等において、家庭で絵本や物語などに親しませるための保護者に対する取組が充実するよう、研修や訪問支援などで、具体的な取組事例の紹介、絵本のリストの周知などはたらきかけを行っていきます。

※ 県では、教育・保育の基本的な考え方と県施策の取組内容を明らかにした「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを平成29年2月に策定し、子供が育つ環境に関わらず、県内全ての乳幼児に、乳幼児期に育みたい力の育成に向けた教育・保育が行われるよう、オール広島県で取組を進めています。（県HP：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>）



指 標

| | 現状値 | 目標値 |
|-------------------------------|-------|------|
| ○ 園・所等が読み聞かせを毎日実施している割合 (H30) | 88.2% | 100% |

幼稚園・保育所・認定こども園等の取組例



子供への絵本や物語などの読み聞かせ

子供たちの1日の生活の流れの中に、絵本や物語などの読み聞かせ（読み語り）を取り入れています。

（社会福祉法人つくし会 こどもえんつくし）



絵本などを手に取りやすい工夫

子供の発達段階に応じた遊びや生活、季節や住んでいる地域に関わる内容など、子供が読みたいとき見たいときに触れることができるような工夫をしています。

また、子供の興味・関心に応じて、遊びに取り入れやすい工夫もしています。

（上：学校法人広島南部教会学園 フレーザー幼稚園）

（下：尾道市立木ノ庄東幼稚園）

保護者へのおすすめ絵本の紹介

読み聞かせ（読み語り）による子供の心の動きを感じるきっかけ作りとして、絵本の紹介や貸し出しをしています。

（上：尾道市立木ノ庄東幼稚園）

（下：学校法人広島ルーテル学園 谷の百合幼稚園）



特別支援学校幼稚部（聴覚障害）の取組

絵本の内容が幼児にしっかり伝わるよう、音声に、手話や身振りを織り交ぜ、主人公になりきった豊かな身体表現を使った読み聞かせをしています。

（広島県立呉南特別支援学校〈聴覚障害部門〉）